

## 自動登録・事故照会回答マニュアル

事故照会種類	エラーコード	照会内容	回答方法	事故防止対策
授精報告なし	E46	種雄牛登録番号・授精年月日を調査の上、授精内容が確認できる書類（授精証明書、繁殖台帳等）を送付願います（FAX可）。	授精証明書や繁殖台帳などの写しをFAX/郵送する。	授精の都度、データによる授精報告を行いましょう。
授精報告不備	E48	種雄牛登録番号・授精年月日を調査の上、授精内容が確認できる書類（授精証明書、繁殖台帳等）を送付願います（FAX可）。	授精証明書や繁殖台帳などの写しをFAX/郵送する。	授精報告の際は、精液ラベルを確認して、正しい種雄牛の略号もしくは登録番号を報告しましょう。
在胎日数エラー	E23	在胎日数エラーです。生年月日と授精記録をご確認ください。 授精記録が誤りの場合は授精証明書や繁殖台帳等、授精記録が確認できる書類を送付願います（FAX可）。 授精記録が正しい場合は、授精履歴が確認できる繁殖台帳等を送付願います（FAX可）。	①在胎日数265日未満および296日以上の場合 ⇒授精記録が正しい、かつ、在胎日数が260日～264日もしくは296日～300日の場合は、「早産」または「遅産」と記入してFAX/郵送する。 ⇒上記以外で授精記録が正しい場合は、 <b>授精履歴が確認できる繁殖台帳</b> などの写しをFAX/郵送する（ <b>授精証明書不可！！</b> ）。 ⇒授精記録が誤りの場合は、授精証明書や繁殖台帳などの写しをFAX/郵送する。 ②在胎日数がかなり短いor長い場合は、小さくor大きく生まれたなどの分娩状況を記入してFAX/郵送する。 ③確認できない場合は親子判定を行う。	正しい授精日の授精報告を行いましょう。 また、早産や遅産の場合は予め、自動登録実施農家連絡書などでその旨を報告してください。
最終より一つ前の授精？	E23	報告された最終授精（授精日@@@@.@@.@@.@@、♂@@@@）は在胎日数が短いので、それより前の授精（上記に記載した内容）で受胎した可能性があります。 分娩状況を確認し上記の授精内容が正しい場合は回答日・回答者署名し本紙を返送下さい。誤りの場合は授精内容が確認できる書類（授精証明書等）を送付願います（FAX可）	分娩状況を確認して、 ⇒授精内容が正しい場合は、事故照会用紙に回答日・回答者署名しをFAX/郵送する。 ⇒授精内容が誤りの場合は、授精証明書や繁殖台帳などの写しをFAX/郵送する。	正しい内容で授精報告を行いましょう。
牛群検定との生年月日不一致	E34	申込牛の生年月日と母牛の牛検の分娩年月日が相違しています。正しい生年月日を回答願います。	正しい生年月日と母牛を確認し、事故照会用紙に正しい生年月日を記入してFAX/郵送する。誤った報告（検定もしくは個体識別情報）は修正する。	出生報告および牛群検定の際には、正しい内容を報告しましょう。
「本牛の出生日」と「母牛の前産分娩日」の矛盾	E33	申込牛の母牛は@@@@.@@.@@にホル雌牛（@@@@.@@.@@）を分娩しています。申込牛と前産不符合となりますので、母牛が相違していないか調査願います。	正しい生年月日と母牛を確認し、誤っている場合は個体識別情報を修正する。	出生報告の際には正しい内容、特に母牛が誤っていないか確認しましょう。複数の出生報告を同時に行う際には、情報が入れ違わないように注意しましょう。
本牛はRED？	E14	父母牛ともに赤白斑の場合は子牛も赤白斑と思われます。申込牛は赤白斑かどうかの連絡がありません。申込牛の斑紋について○を記入下さい ⇒（赤白斑である・赤白斑でない）	申込牛の斑紋を確認して、「赤白斑である・赤白斑でない」のいずれかに○を記入してFAX/郵送する。	赤白斑の子牛が生まれたら「自動登録実施農家連絡書」または「補足情報報告システム」で報告しましょう。
母牛の転入報告なし	E80	母牛の個体識別情報に申込者への転入報告を行ってください。転入報告が確認できるまで申込みは保留となります。	母牛の転入報告を行う。	牛の異動の際には、必ず転出・転入報告を行いましょう。